

研究主題 国際教育とその実践の推進

～令和6年度東京都国際教育研究協議会の活動について～

I 本協議会の目的

本会は、小学校から大学までを対象として研究活動および教育実践を行っており、教科横断的な活動であることから、学校の枠を超えて広く活発に交流することが不可欠である。またグローバル化が進展する昨今、優れた実践や指導法を広範に普及することが大きく都民の利益となることから、本会は学校において、国際理解と国際協調の精神を涵養し、国際社会の中で積極的に行動できる有為な人材の育成をめざす国際教育と実践の推進を図ることを目的とする。（会則第2条）

II 活動(1)

● 高校生英語及び日本語弁論大会 東京都予選実施（6月）

毎年、夏休み期間中に開催される、全国国際教育研究協議会主催の全国大会に向けて、東京都予選を行っている。

本年度開催日時：6月1日（土）都立六郷工科高等学校にて

参加者：都立および私立高校生、英語13名、日本語6名

弁論内容：国際理解、国際交流、国際協力、多文化共生、国際ボランティア活動等に関するもので、いずれも演題は自由である。高校生としての主張を含み、国際協力や国際交流などに関する生徒自身の体験（授業や部活動などで学んだことや主体的に調査研究した内容も含む）を通じて考えたこと、または地球環境や世界平和などに関して自分の考えや意見を英語又は日本語で弁論した。在外経験や留学体験のある生徒は、その経験や感想にとどまらず、自分の経験と諸問題などと関連させた弁論を行った。

全国大会は、令和6年度は宮城県で開催され、英語弁論が第44回、日本語弁論が第24回を数える。今年度は、都立高校生2名が日本語弁論の全国大会へ進出し、1名は「外務大臣賞」、もう一名は「国際交流基金賞」を受賞した。



弁論大会東京都予選 2024年6月1日 都立六郷工科高等学校にて

III 活動(2)

● 外国につながる生徒のための進学ガイダンスと多文化交流会

外国につながる生徒へのさまざまな支援は、学校だけでなく、外国人支援の団体（国際交流センター、NGO・NPOなど）でも行われてきた。本研究協議会でも平成28（2016）年度以来、年2～3回、外国につながる高校生ための進路ガイダンスや多文化交流会を実施してきた。今年度は7月20日（土）に桜美林大学新宿キャンパス、12月22日（日）に都立工芸高校にて実施した。外国人への支援団体や法律の専門家などの団体（多文化共生教育ネットワーク東京 TEAM-Net や在留外国人支援センターなど）と企画の段階か

ら連携し、また桜美林大学をはじめとする大学生の皆さまにも御支援いただいた。更に、東京都教育委員会人権教育研究奨励費グループとも連携している。

これまで外国につながるの中学生や高校生の進路選択や学校への定着に向けた取り組みを行うことができたのも、各校における御理解と御支援、都立高校卒業生や大学、専門学校、企業、NGO、地域のNPOと、各方面の方々の御協力によるところが大きい。

参加生徒は進学や就職の際に影響する在留資格の情報、上級学校の外国につながるの生徒を対象とする特別な入学枠等の情報、先輩の体験談などを得ることができた。一方、漢字が難しい、生徒の学習経験の実態や能力にあってはいる教材が少ない、日本の学校文化が分かりにくい、「日本人に合わせる」努力や姿勢を随時求められる、論理的な思考力や言語能力を育成する学習環境が乏しい、居場所を見つけにくい、母語話者同士で集まってしまうなどの課題も浮かび上がった。また、母語などをどのように保障していくかも、課題である。



←12月開催の進路ガイダンスチラシ
英語、中国語、韓国語でも作成している

IV 活動 (3)

- JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト審査

JICA が主催しているエッセイコンテストの一次審査に本協議会が審査員として参加している。本年度のエッセイのテーマは「未来の地球のために ～私たちにできること～」であった。



募集しています！！
国際理解教育活動、
一緒にしてみませんか？

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都国際教育研究協議会	
代表者	所属	都立農産高等学校	
	職 氏名	校長 平柳 伸幸	
	連絡先	03-3602-2865	
事務局	所属	都立富士森高等学校	
	職 氏名	主任教諭 林 真代	
	連絡先	042-661-0444	
団体ホームページ	URL	http://jafie.jp/tokyo	二次元コード
			—